

農林水産商工常任委員会資料

(令和7年4月21日)

項 目

ページ

- トランプ関税など経済情勢検討会議の開催結果について
【商工政策課、企業支援課】 2
- 令和6年度の企業立地等実績について
【立地戦略課】 3
- 県外企業の立地決定について
【立地戦略課】 4
- 県立産業人材育成センターにおける職業訓練の実施状況等について
【産業人材課】 5
- 鳥取県伝統工芸品半世紀展の開催について
【販路拡大・輸出促進課】 6

商 工 労 働 部

トランプ関税など経済情勢検討会議の開催結果について

令和 7 年 4 月 2 1 日

商工政策課・企業支援課

自動車関税や相互関税等のいわゆるトランプ関税が次々と表明されたことを受けて、商工団体・金融機関等と県内経済・企業等の現状及び影響を共有し、今後の対応等を話し合う検討会議を開催しました。

1 日時 令和 7 年 4 月 8 日（火）
午前 1 1 時から午前 1 1 時 5 0 分まで

2 場所 鳥取県庁特別会議室（議会棟 3 階）

3 出席者

〔商工団体〕鳥取県商工会議所連合会、鳥取県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会
〔金融機関〕(株)山陰合同銀行、(株)鳥取銀行、鳥取県信用金庫協会、鳥取県信用保証協会
〔鳥 取 県〕鳥取県知事、商工労働部長



4 会議の概要

- ・自動車部品の製造等を行う事業者で取引縮小の動きが見られるとの報告があった一方、現時点では全体として顕著な影響が確認されておらず、今後、自動車メーカーの対応に伴う影響や自動車以外の業種や輸出等を行う事業者に相互関税等の影響が懸念され、注視が必要との意見もあった。
- ・出席団体は、速やかに相談体制を設けており、今後、県制度融資等の県支援策を活用しながら支援を行っていくことを申し合せた。また、人手不足や物価高、ゼロゼロ融資の元金返済据置期間の満了など、厳しい経営環境下の事業者への伴走型の支援が求められるとの意見があった。

5 県の対応状況

(1) 資金繰り支援

中小企業者等を対象とする地域経済変動対策資金（令和 7 年度アメリカの関税引き上げによる経済変動枠）を 4 月 7 日に発動するとともに、発動した特別融資に係る相談窓口を開設した。

ア 融資限度額：2 億 8 千万円 イ 融 資 期 間：1 0 年以内（据置 3 年以内含む）
ウ 融 資 利 率：年 1. 5 0 %（変動金利） エ 利 子 補 助：市町村との協調で最大 3 年間支援
オ 申 込 窓 口：県内金融機関、商工団体 カ 申 込 期 限：令和 7 年 9 月 3 0 日まで
キ 融 資 枠：3 0 億円 ク 相 談 窓 口：県企業支援課内（0857-26-7453）

(2) 今後の対応

刻々と変化するトランプ政権の政策の動向を注視しながら、国の支援策と呼応し、新たに発動した資金繰り支援策や、令和 7 年度当初予算で措置した支援策等について、関係団体と連携して活用等を促しながら、今後の状況等を踏まえて必要な対応を検討・実施していく。

6 参考

(1) 国の動き

経済産業省は、4 月 3 日に「自動車関税発効等を受けた短期の支援策（※）」を発表。8 日には全閣僚が出席する総合対策本部が開催され、石破総理は「日本への影響の十分な分析」「措置の見直しを強く求めるなどの外交面の取組」「資金繰り対策など必要な支援に万全を期す」の 3 点を指示。また、赤澤経済再生担当大臣をアメリカとの関税交渉役に指名。

※相談窓口の設置（全国約 1, 000 か所）。資金繰り・資金調達支援（低利融資・貿易保険）。中堅・中小自動車部品サプライヤーの事業強化（伴走支援や設備投資支援等）等。

(2) 主なトランプ関税の概要

自動車関税	・自動車（完成車）への 25%追加関税（4/3 発動） ・自動車部品への 25%追加関税（5/3 発動予定）
相互関税	・一律 10%の追加関税（4/5 発動） ・国・地域ごとに税率上乘せ（4/9 発動後、日本を含む一部の国等に 90 日間の一時停止発表） ※鉄鋼・アルミニウム、自動車・自動車部品、スマホ・半導体装置等の電子機器など、分野別の追加関税（発動予定を含む）の品目は除外
その他の関税 （国・品目別）	・カナダ・メキシコに 25%追加関税（3/4 発動） ・鉄鋼・アルミニウムに 25%追加関税（3/12 発動） ・中国に 145%追加関税（2/4・3/4 発動 計 20%、4/5～4/10 相互関税発動 計 125%）

令和6年度の企業立地等実績について

令和7年4月21日
立地戦略課

令和6年度に県支援制度等を活用して立地した企業立地等実績をとりまとめましたので、報告します。

1 令和6年度の企業立地等動向

県内企業の新設・増設は、今後の成長が見込まれる分野である次世代自動車、半導体やGX(グリーン・トランスフォーメーション)関連の新工場建設や生産設備増強等、過去に誘致した企業による成長分野等への積極的な投資の動きがあり、県内経済の活性化につながった。

県外企業の立地は、新たに冷凍食品等を製造する大手企業の工場進出の動きや、機械装置等の設計業務を行うオフィス設置の動き等があり、引き続き、立地した企業が県内で成長するよう支援していくとともに、将来の成長が期待される高い付加価値を創出する事業者等の企業動向をとらえた機動的な誘致活動を進めていく。

2 立地実績

(1) 県内企業新増設

区 分	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	合計 (R2～R6)
件数	53	31	19	23	17	143
(地域別立地先)	(東27、中6、西20)	(東19、中3、西9)	(東9、中2、西8)	(東11、中5、西7)	(東7、中1、西9)	(東73、中17、西53)
雇用計画(人)	288	211	234	339	124	1,196
[うち正規雇用(人)]	[229]	[184]	[197]	[312]	[96]	[1,018]

(注) 件数欄の「東」は県東部地域への立地、「中」は県中部地域への立地、「西」は県西部地域への立地。以下同じ。

(2) 県外企業立地(サテライトオフィス等設置及び本社機能移転を含む)

区 分	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	合計 (R2～R6)
件数	5	3	4	6	6	24
[うちオフィス等設置]	[3]	[3]	[1]	[6]	[3]	[16]
[うち本社機能移転]	[1]	[0]	[1]	[0]	[0]	[2]
(地域別立地先)	(東4、中0、西1)	(東1、中0、西2)	(東2、中0、西2)	(東6、中0、西0)	(東4、中1、西1)	(東17、中1、西6)
雇用計画(人)	107	5	89	9	59	269
[うち正規雇用(人)]	[34]	[2]	[55]	[6]	[59]	[156]

(注) 上記には、「とっとり先駆型ラボ誘致・育成補助金」を活用して、サテライトオフィスや研究開発拠点を設置した「オフィス等設置」、及び本社機能移転(県外本社企業が県内に本社機能の一部等を移転するもの)を含む。

○県内企業新増設の事例

今後成長が見込まれる分野等での大型投資

- ・(株)鳥取メカシステム(鳥取市)：電気自動車や半導体産業向け自動機械製造に取り組むための新工場建設・設備導入
- ・王子ホールディングス(株)・王子製紙(株)(米子市)：木質由来エタノール・糖液の量産化に向けたパイロット製造設備導入
- ・米子西日本(株)(南部町)：電気自動車のガラス部分等に使用されるケーブル部品製造の国内回帰及び一貫生産体制構築

○県外企業立地(オフィス等設置)の事例

食品大手企業の工場進出や機械設計業務を行うオフィス設置

- ・(株)極洋・極洋食品(株)(東京都→倉吉市)：市販用冷凍食品等の新たな生産拠点(倉吉工場)の設置・西日本供給体制強化
- ・サフラン(株)(愛知県→鳥取市)：BCPや需要増を踏まえたジェルネイル用樹脂の研究開発・製造の第2拠点整備
- ・NITTOKU(株)(埼玉県→鳥取市)：電気自動車等に搭載されるコイルの自動巻線製造機の設計事務所新設

県外企業の立地決定について

令和7年4月21日
立地戦略課

ネイルサロン等で使用されるジェルネイル用樹脂製造を手掛けるサフラン(株)(本社:愛知県安城市)の工場立地、及びトヨタのティア1企業で、自動車内外装部品の製造を行う三井屋工業(株)(本社:愛知県豊田市)が農業分野で鳥取大学と行う共同研究のためのサテライトオフィス設置が決定しましたので報告いたします。

1. サフラン株式会社

(1) 企業概要

- 所在地 愛知県安城市篠目町 1-20-1(工場:岡崎市渡町字薬師畔 52-1)
- 代表者 代表取締役 岸本 芳男(平成20年2月設立)
- 売上高 190,725千円(令和5年9月期)
- 事業内容 感光性(UV・紫外線)樹脂開発・製造販売等(樹脂は卸業者を通しネイルサロンに供給)

(2) 鳥取工場の概要

- 所在地 鳥取市布袋工業団地(4,800㎡)
- 操業 令和7年度中
- 雇用計画 3名(正社員3名)※将来的には25~30名雇用予定
- 事業内容 ジェルネイル用の樹脂製造(将来的には製造能力を強化し、第2の拠点化を目指す)



(3) 拠点設置の背景等

- ・ネイルサロン等で使用されるジェルネイル樹脂では受注先の希望に合わせて200色以上の調色を行うなど他の樹脂メーカーとの差別化により需要が増えており工場増設を行う必要があった。また、南海トラフ地震等のBCP対策としての第2拠点の立地場所を検討していたところ、県・鳥取市の誘致活動により立地決定したもの。
- ・同社の岡崎工場は未経験者や女性も多く、誰でも働きやすい職場環境となっており、鳥取工場でも、未経験者や女性の雇用を進めていきたい意向。



(4) 県の支援見込み

産業未来共創補助金(基本10%+緊急経済リスク回避(災害リスク分散)での加算(5%))で支援予定

2. 三井屋工業株式会社

(1) 企業概要

- 所在地 愛知県豊田市三軒町 3-1
- 代表者 代表取締役社長 高橋 直輝(昭和23年2月設立)
- 売上高 10,047,000千円(令和6年3月期)
- 事業内容 自動車内外装品製造(取引先はトヨタ自動車、トヨタ紡織、トヨタ車体等)

(2) 鳥取サテライトオフィスの概要

- 所在地 鳥取市若葉台(県産業技術センター内)
- 入居予定 令和7年4月末

(3) 拠点設置の背景等

- ・製造工程で大量に発生する廃プラスチックの利用用途を検討する中で、土の代替にする植物栽培土壌「ふわっ土(と)」の研究開発を開始。連携先の大学を探していた同社に対して県が鳥取大学を紹介し、農学部山田教授と「ふわっ土」を利用した植物栽培における特徴の数値化や改良点の抽出等に関する共同研究の開始が決定。
- ・将来的には廃プラスチックのリサイクル等で県内企業との連携も模索しており、工場設置も視野に働きかけを行っていく。

(4) 県の支援見込み

とっとり先駆型ラボ誘致・育成補助金で支援を予定

(補助率:1/2、上限額:200万円、対象経費:事業所賃借料、機器取得・賃借費、通信費等)



<トランクの内装品>



<粉碎>



<「ふわっ土」に活用>

県立産業人材育成センターにおける職業訓練の実施状況等について

令和7年4月21日
雇用人材局産業人材課

県が職業能力開発促進法に基づいて設置する職業能力開発校「県立産業人材育成センター」（倉吉校・米子校）では、産業界のニーズを踏まえ、新規学卒者や離職者等の就職やスキルアップを支援する職業訓練を実施しています。令和6年度の職業訓練の実施状況と令和7年度の取組について報告します。

1 令和6年度の実施状況

- ・新規学卒者、離職者、障がい者を対象とした職業訓練については、491名が修了。そのうち338名が就職した。引き続き、就職支援を行っていく。
- ・在職者を対象とした職業訓練について、260名が修了した。

【令和6年度実績】※就職者数、就職率は令和7年4月10日時点の数値

（単位：人）

対象	訓練科名	期間	定員	入校 進級	修了	就職	就職率(単位：%) ()は前年度同期	(R7年度)	
								定員	入校
新卒者 (施設内)	ものづくり情報技術科	2年	(1年)20	8	—	—	— —	20	2
			(2年)20	7	7	6	85.7 (100.0)	20	8
	土木システム科	1年	10	5	4	4	100.0 (100.0)	10	9
	木造建築科	1年	10	7	5	5	100.0 (100.0)	10	8
	自動車整備科	2年	(1年)25	15	—	—	—	25	11
			(2年)25	11	11	10	90.9 (100.0)	25	15
	設計・インテリア科	1年	20	8	7	7	100.0 (100.0)	20	9
	デザイン科	1年	20	9	8	7	87.5 (50.0)	20	12
小計			150	70	42	39	92.9 (87.8)	150	74
離職者 (委託等)	60科 (PC・介護・医療事務・保育士等)	短期：3～10カ月 長期：2年	874	566	439	289	65.8 (57.9)	829	—
障がい者	16科 (総合実務科、就業支援科 等)	1年等	77	12	10	10	100.0 (66.7)	77	—
新卒者、離職者、障がい者 小計			1,101	648	491	338	68.8 (60.7)	1056	—
在職者	44コース (PC、事務、オーダーメイド等)	24時間等	564	297	260	—	—	620	—

2 令和7年度の新たな取組

産業界の人材ニーズに対応するため、離職者及び在職者を対象としたデジタルや介護の分野の訓練科を新設する。

(1) 離職者対象訓練

＜新設＞

区分	訓練科名	内容
委託	I Tエンジニア養成科 〔募集定員：4名〕(24か月)	We bシステムの開発に必要なプログラミング技術やシステム設計手法等の専門的な知識・技術を習得する。
	介護福祉士実務者研修科（東部） 〔募集定員：16名〕(6か月)	介護サービス提供に必要な知識・技能を習得し、介護福祉士実務者研修課程の取得を目指す。

(2) 在職者対象訓練

＜新設＞

区分	訓練科名	内容
委託	アクセス基礎科（東部） 〔募集定員：14名〕(18時間)	大量のデータ（顧客、売上等）を管理、活用できるデータベースソフトの基本操作を習得する。
施設内	C S表計算2級試験対策コース（中部） 〔募集定員：10名〕(36時間)	表計算ソフトの幅広い機能を学び、コンピュータサービス技能評価試験表計算部門2級の取得を目指す。
	V B Aプログラミング科（応用）（西部） 〔募集定員：10名〕(24時間)	エクセルで行う定型業務を自動化できるV B Aプログラミングの応用スキルを習得する。

鳥取県伝統工芸品半世紀展の開催について

令和7年4月21日
販路拡大・輸出促進課

県立美術館にて開催している鳥取県伝統工芸品半世紀展「ようこそ、ようこそ50年、これからも」の概要について報告します。

1 展示会の概要

- (1)期間 令和7年4月18日(金)から5月10日(土)まで
(2)会場 鳥取県立美術館 1階 県民ギャラリー ※入場無料
(3)主催 鳥取県、鳥取県伝統工芸士会(会長:中森 清(上神焼当主))
(4)内容

伝統工芸品一堂 展示	「用の美」を湛える手仕事の日用品、伝統工芸士の高度な技法を形にした秀作展示
因州和紙・弓浜 緋	歴史・原材料・工程・多様な製品群、因州和紙日本画作品(東京藝術大学との共同研究により製作)、往時の弓浜緋の名作(嶋田悦子氏遺品を境港市教育委員会収蔵)等
映像で見る伝統 工芸	伝統工芸士・製作・産地の映像上映(映像作家、波田野州平氏(倉吉市出身)制作)
列品解説・体験	会期中の土日祝に伝統工芸士による日替わり解説(無料)、陶芸製作体験(有料)

(5)主な出展品目

- ・国指定伝統的工芸品
因州和紙、弓浜緋、出雲石灯ろう
- ・鳥取県知事指定郷土工芸品等
陶磁器(岩井窯、因久山焼、因州・中井窯、牛ノ戸焼、上神焼、国造焼、福光焼ほか)、倉吉緋、綾綴織、筒書き、大山友禅染、郷土玩具、竹細工、因幡の踊り傘、淀江傘、木工品、籐細工、和太鼓、漆器 等

2 オープニングセレモニー

- ・日 時 令和7年4月18日(金) 午後2時から午後2時20分まで
- ・会 場 鳥取県立美術館 1階エントランス
- ・出席者 平井知事、中森鳥取県伝統工芸士会会長、広田倉吉市長、鹿島県議会議員、鳥羽県議会議員 倉吉幼稚園児ほか
- ・内 容 主催者あいさつ、来賓あいさつ、くす玉割り、倉吉幼稚園児による歌披露(知事の主なコメント)
 - ・鳥取県の伝統工芸は奥が深い。今、全国的にも見直されてる民藝の世界がここに生きている。
 - ・因州和紙、倉吉や弓浜の緋、陶磁器や人形づくりなど大切なものが受け継がれている。
 - ・用の美という実用の中の美しさ、工芸のすばらしさを味わっていただける。逸品を見ていただくとだけでなく、生活を豊かにするものを見つけていただけたらと思う。

